

1 現状

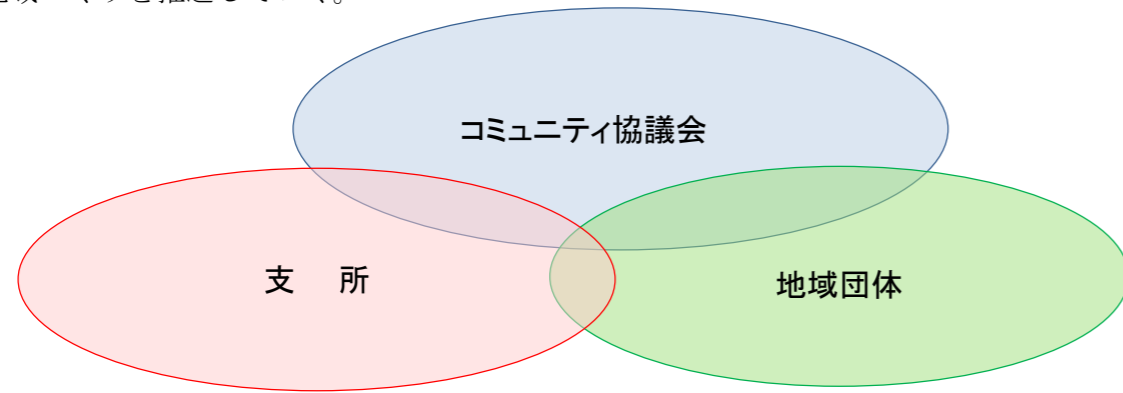
- ・栃尾地域はこれまで、区（町内会）が中心となり各種活動を行ってきた。
- ・急速に進行する少子高齢化や、人口流出に伴う担い手の減少、地域力の低下など、区の枠組みを超えた新たな課題が発生している。
- ・多様化する地域課題に対して、行政や区だけではなく、より幅広い視点での対応が求められる。

2 目指す地域像

- ・住民が安全・安心に住み続けられる地域
- ・地域の個性を活かし、将来に向け新たな価値を生み出していく地域

3 新たなまちづくり体制（令和5年度～）

- ・コミュニティ協議会を中心に支所・地域団体が連携した地域づくりを行う。
- ・これまでの区（町内会）が行ってきた活動を大切にしつつ、各組織が連携しスクラムを組み、多様化する地域課題の解決や地域全体の活性化に取り組むことで、地域の魅力の発信やより良い地域づくりを推進していく。

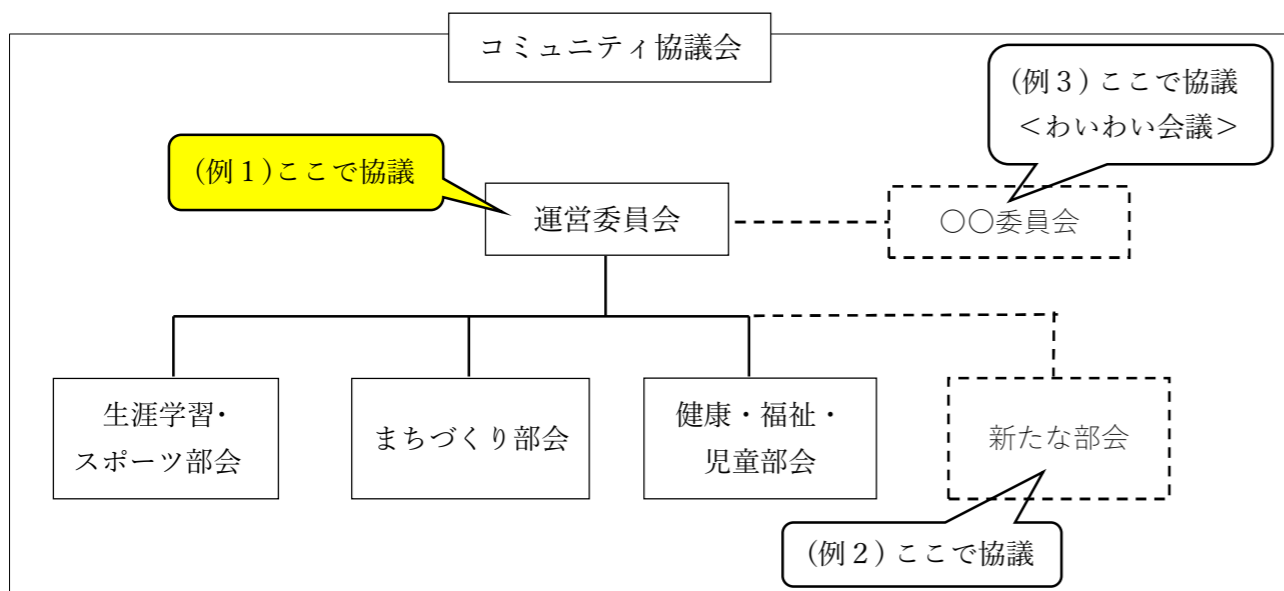


4 地域課題等を議論する場

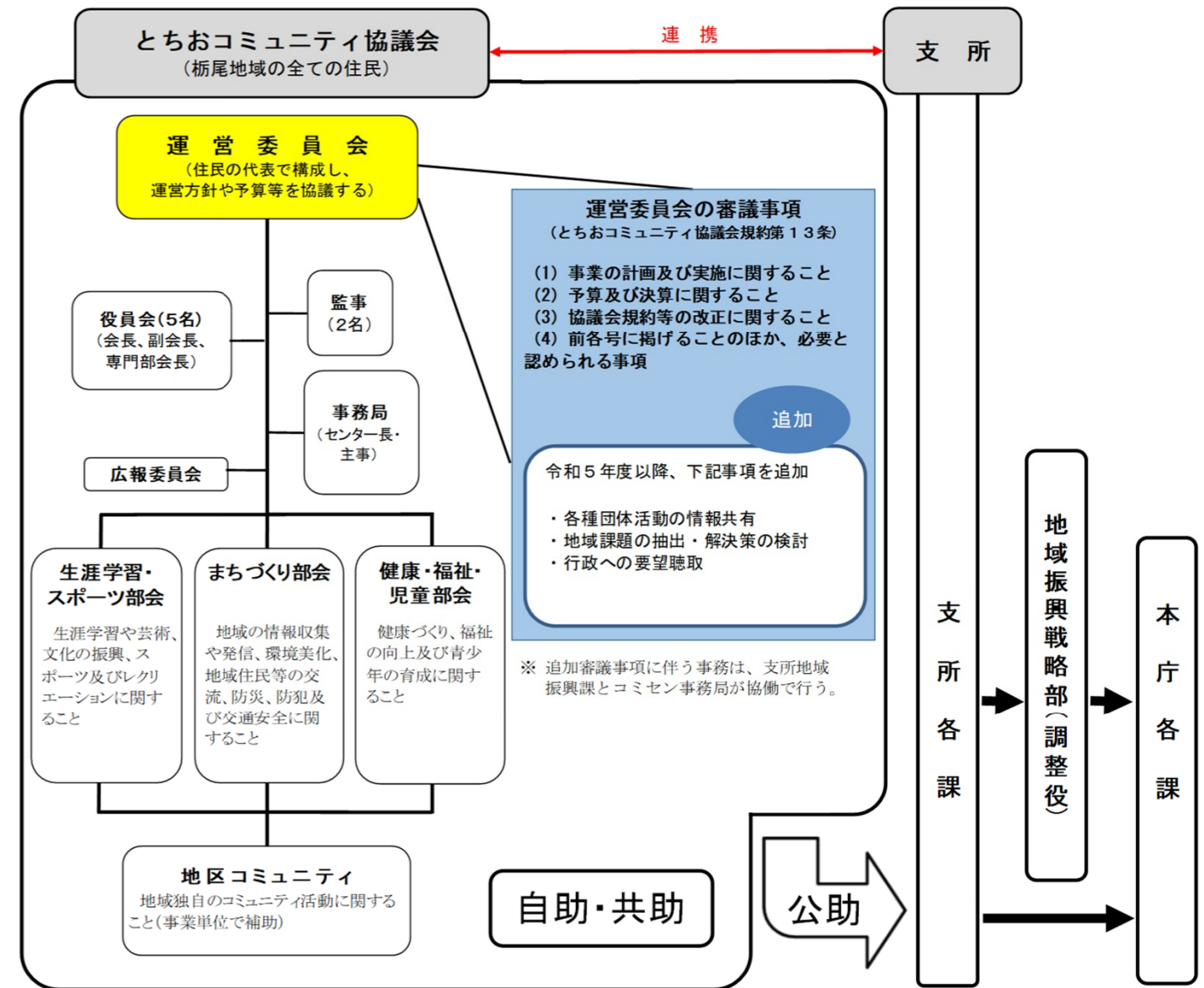
これまで各会議等において、新たな組織体制を幾度なく検討してきましたが、コミュニティ協議会の運営委員会の中に取り組み体制を構築することが良いのではないかとの結果となりました。

<検討の中で出た主な意見>

- ・運営委員会は協議会の最高決定機関であり、各団体の代表者が集まっている。
- ・体制はシンプルな方がよく、新たな組織を立ち上げてメンバーはあまり変わらない。



5 とちおコミュニティ協議会と行政との連携図（案）



- ・上記は、あくまでスタート段階の体制であり、実情に応じ変化していくものと考えています。
- ・実際の運用面等については、今後コミュニティ協議会と支所が協働で検討していきます。(コミュニティ協議会規約の改正、地域課題の抽出方法など)